事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課			■担ӭ	当係	健康係	
■評価事業名称	食生活改善推進員設置事業						
■事業開始年度	昭和54年度						
■評価事業コード	040200 - 015 ■会計区分 一般会計						
	■政策 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり						
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	03 健康	づくりの推進とサ	也域医療	の充		
	■施策	■施策 03 市民の健康づくりの推進					
■事業の類型	05 ソフト事	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策					政策
■法令の根拠区分	法令に定めば	法令に定めはあるが任意の自治事務					
■法令等の名称	根拠法令「国	艮拠法令「国民の健康づくり地方推進事業の推進について健医地発53 H10.6.22					
■関連計画の名称	北上市健康で	北上市健康づくりプラン					
■事 業 の目的と概要	民の健康増進	まを図る。食·	育成することに 生活改善推進員 善推進員協議:	■養成「	栄養教	室」の開催、	運動を円滑にし、市 委嘱、活動報告、育

2. 細事業の活動実績情報

細事:	業 細事業 ・ 名称	事業の対象	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業量実績		
01	食生活改善 推進員設置 事業	食生活改善推 進員、市民	·委嘱者数 370人 ·栄養教室受講者数 25人(5日間20時間) ・育成研修会 開催回数18日、参加延べ人数700人	・委嘱者数 351人 ・栄養教室受講者数 11人(5日間20時間) ・育成研修会 開催回数18日、参加延 ベ人数478人		

3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	1,643	1,618	1,568	1,621	
人 件 費	3,136	2,979	3,079	2,518	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,779	4,597	4,647	4,139	

4. 評価指標等の状況

指 コ·	音標 指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	食生活改善推進員数	371名	366名	367名	351名	
02	食生活改善推進員育成研修 会参加率	57.4%	62.5%	69.9%	68.1%	
03	食生活改善推進員になって 役に立ったと思う者の割合	96.3%	97.4%	97.2%	99%	食生活改善推進員になって 役に立ったと思う者・アン ケート提出者数×100
						クート徒山有数×100

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

04 推進員一人あたりコスト	12,881円	12,560円	12,662円	11,792円	フルコスト÷食生活改善推進員数
05 参加者一人あたりコスト	7,479円	6,701円	9,058円	8,659円	フルコスト÷育成研修参加 者数

							進員数		
C)5	参加者一人あたりコスト	7,479円	6,701円	9,058円	8,659円	フルコスト÷育成研修参加 者数		
		事後評価(「政策」事業類 目標達成状況 A. 順調 B. 概ね順調 C. 遅れている	達成状況の分	進員の養成、育	育成に関して着実に	問題点・課題等 会員の高齢化が近後継者育成が課題	進み、退会者が多く、新入会 ₫。	具	
-1. 直	接铂	内な受益者の範囲	2. 国•	県・民間との競	 競合関係の有無 ───	<u> </u>			
্ৰ ব	下特	定多数に及ぶ	∭	似の事業はな	:()				
特	寺定	されるが多数に及ぶ	○類	似の事業はあ	るが競合はない				
○ 特	寺定	少数に限定される	□ □ □ □ □ 類	似の事業があ	り競合する				
-3. 事	業層	廃止の影響 ――――		是生活·企業活	動への影響 ー	' 	この影響を受ける受益者の	割合	
⊚ ㅊ	⊙ 大きな不利益やリスクが生じる			○ 市民生活・企業活動の維持に不可欠			● 1. で選択した人の大多数(70%程度)		
	5る	程度の不利益やリスクが生じ	る ・	民生活・企業活	舌動の維持の向上に必	要	択した人の半分程度(50%程	度)	
্ৰ ব	「利	益やリスクは小さい		民生活・企業活 の影響は少な	舌動の維持の向上 い	○ 1. で選	択した人の少数(30%程度)		
-6. 事	業/	へのニーズの変化 ―――		策の改善需要	度(市民意識調査) —	' ── 	優先度(市民意識調査) ─		
• =		ズが高まっている		i位が高い		● 順位が	高い		
O =	<u>-</u>	ズは変わらない		値が中程度		○ 順位が	│ │ │		
O =		ズが低下している又は合致し	ない	位が低い		○ 順位が	低い		
-9. 他	市田	町村に比較しての優位性 ――		施主体の代替	性 ————	 11. 経済性•効			
() 先	○ 先進的またはユニークな事業である			● 民間委託等の拡充は難しい			● 今以上の効率化や改善は難しい		
● 他	● 他と同程度の事業である			○ 民間委託等の拡充が十分に可能			○ 効率化や改善を図ることは十分に可能		
○ 通	星れ	ている事業である		部委託や実施	主体の移行が可能	□ ○ 効率化や	改善の余地が大きい		
		見直し方策(評価項目2,4の			⊢■今後の方向	 性			
		₹善の啓蒙、普及活動を通じて 継続が必要。	[健康増進に資す	るものであ	○Ⅰ.拡充		7. 廃止•休止		
	•				(● Ⅱ.継続	0	7. 完了 7. 完了		
						\(\text{\cond}\)	.), 1		